

教員を目指す大学生等を対象にした「いばらき輝く教師塾Ⅱ期」を開講

令和2年度「いばらき輝く教師塾Ⅱ期」が県教育研修センターで、茨城の教員を目指す大学生等156名が参加して開講しました。昨年度まで実施してきた「いばらき教員養成セミナー」、「いばらき輝く教師塾」を、本年度から「いばらき輝く教師塾Ⅰ期・Ⅱ期」として一体化しました。

Ⅱ期の第1日は、感染症拡大状況を考慮しオンラインによる研修としました。第2日と第3日は受講生に対する事前の体調管理の徹底や、バス送迎、昼食、研修時に3密を徹底的に避けるなどの対策をとり、来所による研修を実施しました。

第2日（10月24日）は、午前中に「学校で気になる子供への支援の実際」というテーマで児童生徒理解を学び、午後から「魅力ある学級づくり」というテーマで、学級担任の役割や、学級担任になったことを想定した演習を行いました。

第3日（11月7日）は、「一人一人の子供が主体的に取り組む授業づくり」をテーマに研修しました。講義を通して授業づくりに関する基本的な内容を学び、指導主事の模擬授業を参考にして、グループで授業を組み立てました。その後、教師役と児童生徒役になり実際に授業を行いました。また、その授業に関して受講生どうしで協議したり、指導主事からのアドバイスを受けたりと充実した研修になりました。

受講者からは、「オンラインが多い中で対面での協議は有意義であった。」、「短い時間ではあったが、模擬授業ができて良い経験になった。」、「他の班の発表から新たな気づきを得ることで視野が広がった。」等々研修に参加して良かったという感想が多数寄せられました。

今年度の「いばらき輝く教師塾Ⅱ期」は第4日（11月28日）が最終回となります。教育相談やキャリア教育等の内容で、来所による研修を予定しています。県教育研修センターでは、今後とも、茨城県の教育を担う人材の育成に努めてまいります。



▲特別支援教育に関する協議



▲学級づくりに関する演習



▲授業の組み立てを協議



▲受講生による模擬授業